

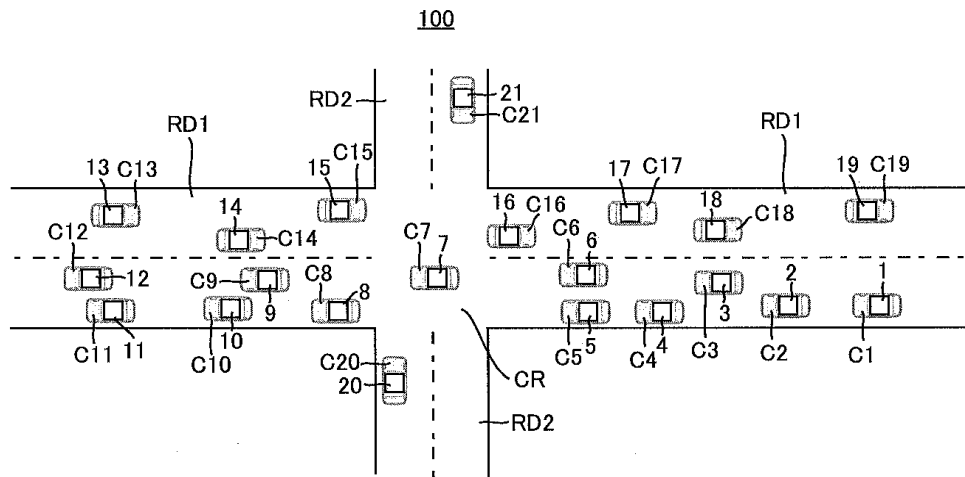
技術の名称

無線ネットワーク

適用分野

車々間通信システム、車々間通信ネットワーク、無線による交通安全システム、無線による交通事故回避システム

- 目的 同一周波数チャンネル上でパケットを同時に送信する端末同士に生じる自己干渉や、相対距離が短い端末からの高い干渉によって相対距離が長い端末からのパケットを正しく受信できないという遠近問題を抑制し、複数の端末が同じ拡散符号を用いて同時にパケットを送信する場合においても、パケットの送信、転送を確実に成功させる。
- 効果 本発明によれば、自己干渉や遠近問題が抑制されると同時に複数の端末が同一の拡散符号を用いて同時にパケットを送信・転送できるので、安定した通信環境が確保される。
- 技術概要 交差点に進入しようとする車両C1の直前走行している車両C2に搭載された無線装置2は、隣接する2つの車両C1、C3の無線装置1、3におけるパケットの送信完了に要する時間を送信所要時間とした場合、直前の車両C3の無線装置3における定期パケットの生成および送信のタイミングからパケットの送信所要時間を3倍した時間だけ経過したタイミングで車両C2の位置情報を含む定期パケットを生成して送信する。

■ 特記事項、
図など■ 主たる提供
特許

特許等の名称 : 無線装置およびそれを備えた無線ネットワーク

登録番号

出願番号 : 特願2008-192334

出願日 : 平成20年 7月25日

公開番号 :

■ 実施実績

有、 ○無

■ 提供形態

○実施許諾、 ×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2

TEL 0774-95-2521

E-mail ; patent@atr.jp